

幅広い資料に支えられた児童サービスと子どもの読書推進活動 ～国際児童文学館とこども資料室～



大阪府立中央図書館(大阪府東大阪市) <http://www.library.pref.osaka.jp/site/central/>

基本データ (数値はH25年現在)

住所	東大阪市荒本北1-2-1
電話番号	06-6745-0170
人口(図書館が所在する市町村)	506,616人
職員数(うち有資格者数)	73人(55人)
蔵書数	約266万冊
登録者数	86,824人
年間貸出冊数(H24)	956,311冊

目的・趣旨

「児童文化の総合資料センター」として、幅広い資料を収集・保存・提供
「子どもの読書支援センター」として、児童サービスの実践と府域の子ども読書推進活動に関わる人材の育成

取組概要

- 児童書および周辺資料の網羅的収集と保存
- 新しい児童サービスの試み
- 学校支援サービス
- 児童サービスに携わる人材の育成



国際児童文学館所蔵
『日本一ノ画噺』全35冊
(明治44～大正4年)

特徴

- 国際児童文学館とこども資料室が連携し、子どもの読書推進活動を展開
【国際児童文学館】(蔵書74万冊)
 - ・ 資料は貸出対象外とし、出版されたままの形で保存
 - ・ ユニークな所蔵資料を展示や講演会等により紹介
 - ・ 子どもの本に関わる大人を対象に、1年間の新刊児童書を紹介・解説する講座を開催(一般財団法人大阪国際児童文学振興財団と共催)
- 【こども資料室】(蔵書14万冊)
直接サービスの実践から生まれた新しい試み
 - ・ 乳幼児向けおはなし会、いろんな国の言葉のおはなし会、楽しい手話(手話によるおはなし会)等
 - ・ 乳児院・児童養護施設への出前おはなし会
- スクールサービスデイ: 休館日に全フロアを開放、学校の“貸切”でサービスを提供
- 図書館職員、学校関係者、ボランティア等を対象に研修等を実施
 - ・ 公立図書館と学校との合同研修
 - ・ 子どもの読書推進活動支援員養成講座
 - ・ 展示や冊子による資料紹介 等



こども向け調査ガイドを配布する
「知ってる?木」コーナー
(こども資料室)

取組の成果と今後について

大学や専門機関等外部との連携を強化しつつ、国際児童文学館が所蔵する貴重な児童書等の一層の利用をめざす。

国際児童文学館の資料の蓄積やこども資料室での直接サービスの経験に裏付けられた専門性の高い司書を育成し、図書館職員、学校関係者等への支援を通じて府域の子ども読書推進活動の充実に努める。